

船舶事故等調査報告書

平成23年1月27日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010横第193号	
事故等種類	衝突	
発生日時	平成22年3月21日 19時40分ごろ	
発生場所	京浜港横浜区 神奈川県横浜市横浜北水堤灯台から真方位025° 2,670m付近 (概位 北緯35° 28.9′ 東経139° 40.3′)	
事故等調査の経過	平成22年10月1日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等</p> <p>A ケミカルタンカー <sup>エイワ マル</sup> EIWA MARU NO.1（大韓民国）、740トン 8910378（IMO番号）、KEO YOUNG SHIPPING CO LTD</p> <p>B 押船 <sup>まつしょう</sup> 松翔丸、138トン 132442、松栄株式会社</p> <p>C バージ <sup>まつしょう</sup> 松翔、3,185トン なし、松栄株式会社</p>	
乗組員等に関する情報	<p>A 船長A、免状不詳</p> <p>B 船長B、五級海技士（航海）</p>	
死傷者等	なし	
損傷	<p>A 船首部ハンドレールに曲損</p> <p>B なし</p> <p>C 左舷船首部に凹損</p>	
事故等の経過	A船は、船長Aほか8人が乗り組み、横浜市鶴見区大黒町に所在する水路（以下「本件水路」という。）の奥に位置する棧橋から出航中、B船は、船長Bほか4人が乗り組み、C船と一体型プッシャーバージを構成し、本件水路の出入口に位置する岸壁に係留中、平成22年3月21日19時40分ごろ、A船の船首部とC船の左舷船首部が衝突した。	
気象・海象	<p>気象：天気 曇り、風向 北、風力 3、視界 良好</p> <p>海象：潮汐 上げ潮の末期</p>	
その他の事項	本事故発生場所は、水路幅が約140mで、本件水路の出入口付近であり、ほぼ直角に針路を転じるところであった。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>A あり、B及びC なし</p> <p>A なし、B及びC なし</p> <p>A なし、B及びC なし</p> <p>A船は、京浜港横浜区の本件水路を出航中、適切な操船が行われなかったため、本件水路の出入口付近の岸壁に係留中のC船と衝突したものと考えられる。</p>
原因	本事故は、夜間、A船が、京浜港横浜区の本件水路を出航中、適切な操船が行われなかったため、本件水路の出入口付近の岸壁に係留中のC船と衝突したことにより発生したものと考えられる。	

